

大阪市廃止・解体 **大阪都** ストップ 共同の力が大阪を変える

「大阪市こわしは許されへん」——これまでの垣根をこえ、橋下市長の「大阪都」（大阪市廃止・解体）構想ストップの一点で共同する市民の輪が広がっています。これこそ明日の大阪をひらくたしかかな力です。

政令市・大阪市の もてる力を、 くらし・福祉の充実へ

大阪市には、政令市ならではの大きな権限、財源があります。その力を「府」に吸い上げるのではなく、市民のために真っ直ぐ使うなら、くらし・福祉・医療は抜本的に充実できます。公約違反の「敬老パス有料化」や「住吉市民病院廃止」に反対してきた共同の力で、市民の願いにこたえる市政へとすすみましょう。府も、市も、暮らしと福祉向上へ、二重三重に力を注ぐ政治にしましょう。



「オール大阪」・庶民の共同で

- 国保料、介護保険料の値上げをストップし、引き下げを
- 「35人学級」をひろげ、自校調理によるあたたかい中学校給食に
- 認可保育所の増設で待機児の解消を
- 公立幼稚園・保育所の民営化をやめ、充実を
- 高校卒業までの医療費助成に
- 中小企業の技術開発、販路開拓への支援を
- 非正規社員を正社員にした企業に助成を



子ども医療費助成の改善を求める運動

カジノも、 ムダな巨大事業の 浪費もストップ

「大阪市つぶし」に待ったをかければ、橋下氏が「大阪都」の「試金石」という「カジノ（賭博場）」にストップがかかります。

また旧WTCビルとりんくうゲートタワービルの失敗は、「二重行政」ではなく、バブル期にゼネコン浪費事業に走った「政策の失敗」です。その本当の原因にメスをいれる共同の動きが広がっています。これこそムダづかいをくり返さない保障ではないでしょうか。

ここにメスを入れられない「維新」では、「都」でも、「特別区」でも、同じ間違いが起ります。

ムダな二重行政はありません

りんくうゲートタワーとWTCは、バブル期の政策の失敗です。

自民・公明・民主系・共産4党の投票公報

過去の政策の失敗はおっしゃるとおりです。

橋下市長、4月14日の住民説明会での「WTCビルは政策の失敗」との質問に

270万市民の 声が生きる 市政と市議会へ

橋下市長の強権的で、乱暴なやり方に、大阪市議会では野党が共同して、地下鉄や水道の民営化やカジノ構想の関連予算削除をはじめ、市民の願い実現へ、大きな力を発揮しています。

さまざまな政策や立場の違いをこえ、市民の利益にかなう方向を互いに議論し、探求するあり方こそ、市民の声を生かす市議会本来の役割です。それをもっとも実践しているのが、いまの市議会での野党共同です。



4党共同で不正な住民説明会は中止を、と申し入れ=4月17日